

大形大郎 （大形大郎） 經濟學者。大正元年十一月二十七日三重縣生れ。昭和二十二年十一月十五日没（二十九歳）。法政大學經濟學部卒。『都新聞』記者。法大講師。昭和二十一年日本共產黨入黨。黨紙編輯部等で活動し、世評を構内しく際死。

著書『マルクス主義貨幣論』（マルクス主義貨幣理論の闡明と反マルクス主義的貨幣理論）にたいする批判―附資本主義的インフレーション―（昭和二十二年一月二十日岩崎書店）等。

